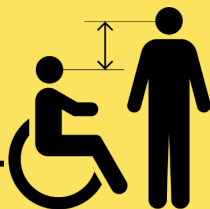




普通に歩いていると気づかない、仰々しいとも思われぬ障害です。
たった3cmの段差で、車椅子は立ち往生してしまいます。
建物の入口段差は、大きな家のように立ちほだかります。
杖をつけて歩行すると、思わぬ段差で滑ったり、転んだり、
外出時の“安心”を、もっともっと。

歩道の
段差 約 3cm



視線の
段差 約 50cm

車椅子は、移動の手段だけではなく、生活の場、
でも、視線は約50cmも低くなります。
目の前には、まったく通った気配が広がっています。
表示が良くない、案内図が見えない、そして取りにくい、
周囲の“上から目線”も、意外と気になるかも・・・。



超高齢化社会に、漠然とした不安や閉塞感を感じますか？
情報の、膨大な量やスピードに追いつけない焦燥感？
AI、IoT、AR、つて何？わからない言葉、これも“段差”です。
今をわかりやすく、明日のモヤモヤを解消する。
人は心の持ちよう一つ、人と人を結び、“段差”を考えます。

心の
段差 $\leq \infty$

無段差社会創生プロジェクト シンポジウム

「段差を越えるアプローチ」

日時 2018年11月10日（土） 13：30～16：30

場所 中央区環境情報センター会議室

東京都中央区京橋3丁目1-1 東京スクエアガーデン6階

東京メトロ銀座線京橋駅 3番出口直結（車椅子の利用が可能です）

参加費 無料 **参加募集中** どなたでも自由に参加できます

昨年のスターティング プログラムでの問題提起に続き、
今年のシンポジウムでは様々な段差を乗り越えるために
インフラやモビリティでどのような取り組みがなされているかについて、
各分野の現場を知る方々のプレゼンテーションと
パネルディスカッションによる意見交換を実施します。
バリアフリーや街なかでの移動にご興味ある方は奮ってご参加お待ちしております。

■プログラム（開場13：20）■

<開会宣言・趣旨説明>

13：30 「都市環境デザイン会議 発表報告」 無段差社会創生プロジェクトコーディネーター
阿部 彰（建築家 まちふねみらい塾）

<プレゼンテーション>

13：40 「電動車椅子利用者のための、街のQOLガイドマップづくり」
阿部 彰・中川 浩（無段差社会）

14：00 「世界のバリアフリーの動向」 楠田悦子 モビリティジャーナリスト

14：20 「次世代パーソナルモビリティ」 矢口忠博（株）本田技術研究所

（休憩）

14：45 「全ての人の移動を楽しくスマートにする」 細國敬祐 WHILL（株）

15：05 「良好な姿勢の確保・安全で快適な移動」 村田康剛 ペルモビール（株）

<パネルディスカッション>

15：30 上記プレゼンターとの質疑応答、意見交換（司会 河田法之 まちふねみらい塾）

※17：00～：希望者（会費3000円）による懇親・意見交換会にもぜひご参加ください。

「無段差社会創生プロジェクト」では活動支援協賛企業を募集しています

■募集定員：60名（定員になり次第締め切り）

①「氏名」②「メールアドレス」③「所属団体」④「車椅子使用有無」⑤「懇親会参加・不参加」
を記載の上、miraijuku-mudansa@vesta.ocn.ne.jp までEメールにてお申し込み下さい。

※名刺をお持ちの方は当日（2枚）持参願います。

■お問い合わせ先 一般社団法人 まちふねみらい塾

専務理事 阿部 彰 (aabe@mfmj.jp) TEL/FAX：03-6264-8177

広報担当 中川 浩 (nakagawa@mudansa.or.jp)

企画担当 河田法之 (kawatanoriyuki@gmail.com)